



たつみっこのための

すたなび

NO. 35 辰美小学校

～ 進級に向けて ～

やわらかな春の日差しがうれしい季節になりました。辰美っ子の1年間の成長をお喜び申しあげるとともに、新たな気持ちで、卒業、進級をお迎えのこと、お祝い申しあげます。

さて2月初旬に回答いただいた保護者アンケートから「すたなび」に関するものを抜粋させていただきました。お寄せいただいたご意見を参考に家庭学習の習慣が確立するよう、「すたなび」を来年度も発行していきたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。



アンケートより

貴重なご意見をありがとうございました！

《 ご感想 》

- ・授業に対する先生の指導方法や考え方を知り、先生の思いが分かった。
- ・両親ともに仕事があり、なかなか宿題や勉強を見てあげることができない。
- ・親は「子どもの先回りをして見守る」ということの意味が最近分かってきた子どもといっしょに感情に振り回されていたら、子どもがつまずいた時に、慰めることも叱ることもできないと実感した。
- ・このアンケートは、親にとって気軽に相談できるきっかけとなり、感謝。

《 取り上げてほしいこと 》

- ◇今後に向けて“自分から”“自分で考えて”学習できるように。
- ◇自学の大切さを子どもに教える方法
- ◇宿題の大切さを教える方法
例：「宿題」は、先生と約束してきたもの、家でしてから学校に持っていくもの。時間を区切り、その時間に終わらなかつたらしくなくてもいい。これはまずい？
- ◇家庭学習、子どもへの接し方（より細かい内容・もっと身近なこと）
※事例を取り入れ、もっと分かりやすく。子どもとの話題作りにもなる。
- ◇読書嫌い。どうすれば、読むことが好きになるのか？
- ◇学年ごとの問題点や 家庭でアドバイスしていくべきこと
- ◇取り上げたテーマの反響、反応も知りたい。



進級前に見直しましょう！ 家庭学習の習慣

(1) 家庭学習のポイント

- | | |
|-----------------------|------------|
| ① 毎日、必ず学習する。 | → 家庭学習の習慣化 |
| ② テレビを見ながらしない。 | → 集中力の向上 |
| ③ 机の上をきれいにし、姿勢よく行う。 | → 学習の効率化 |
| ④ 学習が終わったら、次の日の準備をする。 | → 忘れ物の防止 |



(2) 発達段階による家庭学習

低学年→学校の宿題ができる。家庭でも学習しようという気持ちが持てる。

中学年→学校の宿題を確実にできる。宿題以外にも少しずつ自主学習ができる。

高学年→宿題がなくとも基本の学習ができる。
興味や必要性のある自主学習ができる。

(3) 家庭学習における保護者の役割

①学習時間の確保を！

塾、習い事、スポーツなど、子どもたちもいろいろと忙しいと思いますが、短い時間でも、「必ず机に向かう」習慣を身につけさせましょう。「何時から何時まで勉強する」ということを、家庭でよく話し合い、無理のない学習時間の設定をして下さい。



②学ぶための環境づくりを！

テレビをつけながら学習しても効果は上がりません。お子さんが落ち着いた学習環境でできるよう、各家庭で工夫したり、家族みんなで話し合ったりして下さい。

③学校との連携を！

お子さんの学習の様子で、気になることがありましたら担任と相談しましょう。

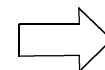
④見届け・励まし、できれば一緒に！

お子さんが学習したことに目を通し、声をかけて下さい。さらに、ほめたり励ましたりすることで、どんどんやる気を出します。できれば学習したことに、コメントを書いてあげたり、ごほうびシールを貼ったりするなど、見届けをお願いします。学習の様子を把握しながら、親子あるいはご家族で、できるだけ一緒に取り組んで下さい。



⑤学習用具をそろえる大切さ

春休みに そろえておきましょう！ 詳しくは、裏に…



学習に集中させるために

学習用具をそろえる大切さ

＜現状1＞ シャープペンシルは、どの学年も原則、使っていない。

シャープペンシルは、小学生には向かないので持ってこないようにしてください。「芯がすぐに折れる、音が気になる、芯の入れ替え」などで、授業に集中できません。また「こわれる、なくなる」など、トラブルの原因になる可能性も高いからです。

＜現状2＞ 筆箱の中のえんぴつが、削られていなかったり、折れたままである児童が多い。

3本の指でしっかりとえんぴつを持ち、濃く書くことで、刺激が脳に伝わり、漢字も覚えやすくなります。また、「えんぴつを削ってくる」とは、学習の構えを作ることになります。毎日5本は、家から削ってくるようにしましょう。最近、雑になっています。筆箱の中を確かめてみてください。



＜現状3＞ 赤えんぴつは、必ず持ってくる。

ペンやボールペン等いろいろな種類があると、クラス全体の指導がしにくく、授業態度への影響やトラブルの原因になりがちなのは、シャープペンシルと同じです。落とし物の中には、赤えんぴつが多いです。落としたままになっていませんか？

＜現状4＞ 消しゴムは様々な色や形の物が多く、遊び道具にもなっている。

練り消しゴムや香りつき消しゴムを持ってくる子も見られます。よく消える物もありますが、授業に集中できなかったり、トラブルを未然に防ぐためにも望ましくありません。

＜現状5＞ 下じきを使っていない児童がいる。

きちんと下じきを使って字を書いた方が、しっかりときれいに書けるのに、下じきを使わない子が増えてきました。「文字の乱れは心の乱れ」とも言われます。心を落ち着かせて文字を書き、学習内容を定着させるためにも、下じきは大切な学習用具です。

以上の様子から、辰美小学校では「基本の学習用具」をおすすめしています。

ご家庭でも、お子さんの筆箱の中をご覧ください。

そして、名前も書いておきましょう!!

平成24年度 辰美小学校「基本の学習用具」

平成22年度より、継続指導

●シャープペンシル、色ペンは、持ってこない。（宿題等でも使わない。）

【筆箱の中】

- 1 えんぴつ5本 程度（削って持ってくる。濃さは、Bか2Bがおすすめ）
- 2 赤えんぴつ（1本か2本） *キャップ可
- 3 白い消しゴム（よく消えるもの） *ミニえんぴつ削り可
- 4 名前ペン（油性のペン）
- 5 定規（10cm～15cm程度。折れ曲がったりせず、目盛りのあるもの）

【その他 いつも用意するもの】

- 6 色えんぴつ（机の中に入れておく）
- 7 下じき

【道具入れ】★1・2年生：引き出し型の道具箱 ★3～6年生：給食袋のような小袋

- 8 のり（必ず） *ミニセロテープ（あれば便利）
- 9 はさみ（必ず） *ホッチキス（あれば便利）
- 10 学年により必要なもの（三角定規、分度器、コンパスなど）

【その他】

- 11 読書用の本を入れる手提げ袋（机の横にかけて、すぐに本が出せるように）



*写真は一例です。

キャラクターについては、特に禁止しませんが、「派手なもの」「遊びの要素が強いもの」は、なるべくさけてください。